

再生可能エネルギーの啓発と普及



「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」の一画にある「とっとり自然環境館」=米子市大崎

国内最大級の大規模太陽光発電所「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」が2014年2月、米子市崎津地区にオープンした。敷地内にある「とっとり自然環境館」を管理運営するのが「エコパートナー」となりだ。県内の再生可能エネルギーを紹介する先導役を担う。「ソーラーパーク」には、約17万9千枚の太陽光パネルが並び、年間発電量約4万5千メガワットは、一般家庭1万2千世帯分に相当する。その一画で、「とっとり自然環境館」は、鳥取県が県内一体で進める「とっとり次世代エネルギーパーク」の中核施設として情報を発信する。施設内では、太陽光、水力、

風力、バイオマスなど県内で稼働する次世代エネルギーの活用事例を紹介。「エコパートナー」と「とっとり」のメンバーが訪れた市民らのガイドを務める。「エコパートナー」と「とっとり」は、地球温暖化防止の啓発と普及を目的に2006年にNPO法人化。当初、天ぷら油などの廃食用油をリサイクルするバイオディーゼル燃料（BDF）事業を主導。市内の福祉施設、「もみの木作業所」と「吾亦紅（われもこう）」にBDF製造機を置き、活動を展開した。



廃食用油を回収して回るエコパートナーととっりのメンバー=2009年



「とっとり自然環境館」では、県内で稼働する再生可能エネルギーを紹介している

BDFは、ディーゼルエンジンで使用でき、欧州で普及が進む。国内では京都市営バスなどでの活用が知られる。活動から約4年で「回収・製造・販売」のシステムは軌道に乗った。一般家庭や飲食店だけでなく、皆生温泉の旅館や保育園、米子市、日野町へと協力の輪は広がった。2013年には、年間に約4万6千リットルを回収、約3万リットルを製造。

仕出し配送車や清掃車、公用車、社有車に利用されている。障がい者の自立支援を兼ねた取り組みは、事業主体を福祉施設に移すまでに成果を上げた。次のステージは「とっとり自然環境館」だ。大野木昭夫理事長は「BDF事業をサポートしながら、次世代エネルギーの関心を高めてもらう啓発に力を入れていきたい」と話している。

社会貢献活動 NPO法人「エコパートナー」ととっりの事例

代表者のコメント

理事長 大野木昭夫さん

「とっとり自然環境館」では、エネルギーだけでなく、名所を紹介しながら鳥取県の素晴らしさをガイドしたい。修学旅行や社会見学のコースに入れてもらうなど、環境と観光を組み合わせたいエコツアーも企画していきたいと考えています。



NPO法人 エコパートナーとっとり

〈概要〉 ●所在地:米子市昭和町25-1 サンイン技術コンサルタント内
●代表者:大野木昭夫
●構成員:理事長1人、理事4人、監事1人、ほか4人
TEL 0859-32-3308 FAX 0859-34-4489
ホームページ <http://www.eco-tottori.com/>
〈とっとり自然環境館〉
米子市大崎字中海ノ-3421番9 TEL0859-21-8533

